



944号
2022年11月15日
郵政産業労働者ユニオン
呉支部発行

←中国地本HPへ
PC・スマホ等から
この情報が閲覧可！

メールはこちら→



2023年3月期 第2四半期（中間期）の経営成績 (億円)

	日本郵政グループ	日本郵便	ゆうちょ銀行	かんぽ生命
経常収益	54,504	17,071	9,288	32,024
前中間期比	△3,003 △5.2%	△816 △4.6%	△2,252 △19.5%	△236 △0.7%
経常利益	2,943	346	2,201	345
前中間期比	△2,532 △46.2%	△2 △0.6%	△1,054 △32.3%	△1,493 △81.2%
中間純利益	2,059	263	1,586	482
前中間期比	△592 △22.3%	△199 △310.0%	△766 △32.5%	△322 △40.0%

2023年3月期 通期業績予想

経常利益	7,000	950	4,450	1,600
中間進捗率	42.1%	36.5%	49.4%	21.6%
当期純利益	4,000	600	3,200	710
中間進捗率	51.5%	43.9%	49.5%	68.0%

減収減益の決算内容

決算の概要

2023年3月期、第2四半期の決算が発表された。

前中間期と比べると減収減益の内容となつてい

るが黒字は確保している。

郵便・物流事業

営業損益は、△63億円で、前期比13.5億円減益。ゆうパックが2.8%、ゆうパケットが2.4%減少した。

郵便局窓口事業

営業利益は、前中間期比17.6億円増益の37.1億円。

営業費用は、かんぽ体制への移行等に伴い人件費が大幅減少した。

国際物流事業

営業損益が前中間期比7.3億円減の8.1億円。営業収益、営業費用が共に減少した。

日本郵便

営業利益は前中間期比3.5億円減の3.50億円。中間純利益は1.99億円増の2.63億円。

ゆうちょ銀行

連結業務純益は、前期比1,577億円減の1,102億円。中間純利益は前中間期比7.66億円減の1,586億円。

外債投資信託の収益減少が、2,369億円減少したのが主因。

かんぽ生命

基礎利益は前中間期比1,079億円減の1,046億円。中間純利益は3.22億

減の4.82億円。

コロナ感染症による保険金支払い増加や保有契

一次審査の結果

時給制契約社員から、正社員となる登用試験の一次審査結果が出た。

2次審査の面接は、一次審査合格者と月給制契約社員69名、短時間社員22名を合わせた5,781名が受ける。

そして12月下旬に最終合格者が発表され、来年4月から一般職の正社員となる。

スキル評価の高い社員が一般職になると月額の手取りが減る為、社員となつても素直に喜ばない者も多い。

年齢による月給調整はあるが、元々低い基本給設定となつている。

合格し、正社員となつて頑張るモチベーションの為に、物価高以上の賃上げは必須である。

時給制契約社員

会社/コース	応募者数 (免除者含む)	一次審査合格者			
		適性試験合格者	適性試験免除者	計	
日本郵便	郵便	6,751	2,287	2,412	4,699
	窓口	1,230	414	577	991
計	7,981	2,701	2,989	5,690	

今後の予定

- 12月13日(火) 17:00~
第3回呉支部執行委員会
支部事務所

次号は12月 6日 予定